



いくぶん

就任のご挨拶

育児文化研究センター長 宮崎つた子

センター長に就任して3ヶ月が経過しました。前期センター会議・第1回定例研究会も無事に終えましたが、まだまだ本年度の新事業企画や運営作業が不十分で皆様にご迷惑をおかけしている状況です。

育児文化研究センターは、前任の福西センター長をはじめ、歴代センター長および研究員・客員研究員（平成24年度からは研究員）のご尽力により、これまで地域と密着した様々な活動を展開して参りました。今では地域の子育て支援事業にも参画し、新たな繋がりも広がっています。

今年度は7名の研究員をお迎えし、30名の研究員の皆様と共に子どもの教育や福祉、子育て問題、児童福祉文化に関する研究と地域貢献を行う実践センターとして積み上げていきたいと考えています。今年度も皆様にお力添えをいただきたいと思いますので、ご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年度も地域の皆様のお役に立てるセンターとして

少子化の進行により、地域の公園や空き地で遊んでいる子どもたちの姿を見かけることができなくなってきています。そのうえ、核家族化が進行し、地域社会のつながりが弱くなってきています。かつては、子どもを育み、守ってきた家庭や地域社会の子育て力や教育力が低下し、子ども自身（子育て）、親自身（親育ち）、親子関係（子育て）、子育て環境にさまざまな問題が起こっているといわれています。

子どもが参加創造できる場があっても支援や指導できる大人の存在は重要です。平成24年度も教育・研究機関である高田短期大学のセンターとして、子どもの成長を支える人材の育成と資質向上に様々な専門家が連携の視点をもって教育研究の充実に努力して参ります。

おやこひろば たかたん



平成24年度の地域開放事業「おやこひろば たかたん」が4月16日から始まりました。本年は開設2年目となりますので昨年の取り組みを基盤にして、大学に設置された支援センターとしてのあり方を参加されている親子の皆様をはじめいろいろな方々の声を拝聴しながら展開していきたいと考えています。そして、おやこひろばが、子どもや親にとって子育てや育ちができる交流の場として利用ができ、学生にとっては保育者を目指す目標を掲げながら、親子と直接に関わり、子育て支援の知識や技能を学んで実践力を高めていくことができるようにしたいと思います。

また、大学内にあるひろばです
から、子どもの発達やあそびの環
境、子育て支援に関する調査研究
などの推進に当たり、その成果を
地域の発展や支援者の育成、また
子育て支援事業の中核となるよ
うな役割を果たすよう取り組ん
でいきたいと思ひます。



ひろば開催日
毎月:月曜日(0~1歳)
木曜日(2歳)



子育て相談
毎月:4回



子育て講座
毎月:第4月曜日



～6月より子育て個別相談を始めました～

「おやこひろば たかたん」に参加してくれて
いるお母さんの「ちょっと質問してもいいです
か?」の声をきっかけに、高田短大の専任教員
がお答えする「子育て個別相談」を6月から開
始しました。月に4回の事前予約制です。

相談内容は、「発達相談」・「子どもの食と
栄養」・「子育て・子育て」・「子どもの成長
発達と健康」などについての個別相談をご案内
しています。

月ごとの開催日時や預託方法については、た
かたん HP でご確認ください。

～津市のひろば交流会の第1回に参加しました～

平成23年度から、「おやこひろば たかたん」も仲間入りさせていただいている津市のひろば交流会の名称が、公募のなかから『つながりひろば』と決定しました。24年度第1回の交流会が5月17日に「さくらんぼ」さんで開催され、今後の希望する研修会内容を出し合い、各ひろばの現状報告をして、ひろばスタッフの交流を深める機会になりました。当日はテレビの取材もあり、ひろばスタッフの小倉さんがインタビューを受けました。

今年度から津市のひろば交流会やひろばスタッフ研修会を高田短期大学
育児文化研究センターが津市と連携して運営していきます。



新入会 研究員の紹介

河崎道夫 研究員

雪国の生まれです。雪解けが待ち遠しい冬。積もった雪の表面が日中に融け、夜の冷気がそれをまた凍らせます。朝、登校途中にその上を歩いて「しみ渡り」です。固そうな所を足で探りながら体重を乗せると……。凍った雪の表面が体重を支えることが出来ればわたれるし、耐え切れなければズボッと雪中にはまってしまいます。スリル満点。失敗して雪まみれになり、仲間たちに笑われ、自分でも大笑い。そしてまた挑戦です。挑戦と泣き笑い、生き物のように遊びは湧いて出てくるので、日がな一日遊んでばかりいたのです。

堀内咲子 研究員



私は、津市のこども総合支援室で子育て支援の仕事をしています。今年、育児文化研究センターにおいて0歳から2歳の「子育て」について考えていきたいと思えます。

この年代の子どもたちは言葉が十分にしゃべれなくても自分の意志で行動し、色々なことを感じ、成長しています。子どもの視線で物事を捉えて、子どもにとって一番よい支援は何なのかを考えていきたいと思えます。そして、「子育て」を見守り、育むことを子育て広場の支援者の方々と保護者の皆さんに広げていけたらいいなと思えます。

浅尾正男 研究員



過去2年間、高田短期大学事務局で高校生向けガイダンス担当として勤務して参りましたが、今春より「英語コミュニケーション」と1・2年生ゼミ担当として15年ぶりに教壇にたつこととなりました。『感性・知性・動性を磨く』をモットーとし、「No.1の保育者・教育者になる!」という志を学生に期待し、「人間学」「三重学」をテーマにし、初孫を託せる品格のある人間味に溢れた保育者・教育者となるようサポートしていきたいと考えています。

杉本郁夫 研究員



少子化・核家族化が急速に進み子どもや保護者を取り巻く環境が著しく変化し、育児不安のある家庭や虐待児童の増加や家庭における養育機能

や地域における子育て力が低下してきています。こうした状況の中、社会保障と税の一体改革法案が衆議院を通過し、保育・子育て支援を取り巻く状況が、大きな転換期を迎えることになりました。県内保育所(園)保育士の研修の企画や保育協議会、保育士協会事務局を担当した経験を生かし、子どもの育ちを保障する人材の育成や子育てライフを支援の充実等に向けて育児文化研究センター事業の推進に微力ながら努力させていただきたいと思っています。



川瀬浩子 研究員



平成22年より、科目「保育内容—健康」の非常勤講師としてお世話になっております川瀬浩子と申します。助産婦として臨床を経験後、看護師・助産師教育に従事しておりました。

現在は、高田短大の他将来教員になる学生への科目「家庭看護学」の非常勤講師、医療・福祉法人の人材育成に関わる「全人教育研究所」研究員に従事しております。今までの経験より、健康の維持増進には予防医療が要と考えており、家庭看護力の育成に寄与することを目指しております。育児文化研究センターでは、様々な分野の先生方からの刺激を受け、子育て・子育て支援を通して、学びを深めていけることを楽しみにしております。至らぬ点多々あるかと思いますが、皆様よりご指導、ご高配を賜りますよう、よろしく願いいたします。

小菅千恵子 研究員



4月より子ども学科で、「保育内容—環境」「子どもとあそび」「家庭支援論」等の授業を担当、また、「おやこひろば たかたん」にもかかわりを持たせてもらっています。以前、保育園の勤務に携わって経験したことや家庭支援事業を通して学んだことをおやこひろばでの支援のあり方や子どものあそびの環境構成に生かすことができるよう、微力ではありますが実践していきたいと思っています。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

寶來敬章 研究員



本年度より高田短期大学子ども学科に着任いたしました寶來敬章です。これまで、主にアメリカの教育改革や教育政策の研究をしてきました。しかしながら、幼児教育や保育の分野に関しては勉強不足な点も多く、日々の学生とのかかわりの中で自分自身の未熟さを実感しています。育児文化研究センターの活動を通して、これから研鑽を積んでいきたいと思っています。慣れないことも多く、ご迷惑をお掛けしてしまうこともあるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成24年度 事業計画

1. 前期センター会議 5/9(水)
後期センター会議 12/5(水)
2. 地域開放事業「おやこひろばたかたん」
3. 地域連携子育て支援事業「元気っ津まつり2012」11/4(日)
4. 育児文化促進事業 研究員によるグループ研究
5. 紀要「高田短期大学育児文化研究」第8号 H25. 3月発行
6. 定例研究会(年3回)
第1回 7/4(水) 第2回 10/24(水) 第3回 2/13(水)
7. 育児文化研究センターだより「いくぶん」
年2回発行(8月・3月)
8. 子育て応援隊(ボランティア室連携)
9. ホームページ「育児文化研究センター」
「おやこひろば たかたん」
10. その他

今後の事業予定・講演会のお知らせ

～テレビ「エチカの鏡」で大反響の
久保田カヨ子先生の講演会開催が決定～



日時:9月23日(日)
13:30～15:30
(開場:13:00～)

会場:高田短期大学
1号館講堂

問い合わせ・申込み:
高田短期大学 総務課

E-mail: ikubunkouza@takada-jc.ac.jp

「子育てママのホットひろば」開催

講師:橋本景子 研究員

日時:8月31日(金)10:00～12:00
場所:高田短期大学

(詳細・申込は津市広報誌に掲載されます)



センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学育児文化研究センター

住所 〒514-0115
三重県津市一身田豊野 195
Tel (059) 253-7020 (センター直通)
(059) 232-2310 (代表)
Fax (059) 232-6317
Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



(編集後記)
今年度も学内外より新たな研究員をお迎えすることができました。
当センターは多彩な専門分野や立場の研究員の方々にお力を寄せて頂き、子育て・子育て支援の研究と地域貢献・地域連携のための事業活動を展開して参ります。
地域の皆様のご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。(H・S)